国際観光旅館連盟

間だった。

目標とするものに1

佐藤 3期6年間はあっという果をどう捉えているか。

好意的な反応がほとんどだった。いることに驚いた」というような

まな宿泊プランを旅館が提案して 「1泊2食付き以外にも、さまざ

就任以来3期を務めた。事業の成っているが、佐藤会長は33年度の

年度は役員改選期にあた

な宿泊プランを販売したが、

サイ

ト訪問者のアンケー

ト調査では、

高級旅館に泊まれたりと、

変則的

通の効率化・高度化に向けた実証 になってきた事業もある。 客室流

「旅館離れ」などもうすれば浸透する。そ

長期にわたって取り

実証実験の期間が短すぎたので

た会員旅館の経営再生支援、

G D

プラン、料金

料金、泊食

分離など、

宿泊需要

株式会社スパー

クスを通じ

海外に客室を流通させる試みなどーション・システム)接続によるS(グローバル・ディストリビュ

これから成果を上げ

ば、もっと需要は掘対応できる力があれに旅館がきめ細かく

旅館に

逥

呂業力を

して国観連は固定資 ――税制改正に関

వ్త

産税の減免を求めて

を提供し、旅館に参加してもらい、

館も多いと思うが。

2009年度総会特集

課題などを聞いた。にこれまでの事業の成果、

【聞き手・向野悟】

度通常総会を前に、

佐藤義正会長

今後の

業に取り組んでいる国観連。99年旅館の再生支援をはじめ新たな事流通の効率化・高度化実証事業、

たえは。

佐藤

旅館業の活性化に向けて、

客室



国観連会長

佐藤義正

じような構造ができる可能性はある。国内の客室流通についても同DSを通じて客室を確保していしたが、海外の旅行会社などはGペガサスソリューションズと契約 るはずだ。 い。国観連はGDS接続についてから客室を取ってもらえればい う 消費者に直に予約を入れてもら こういう話をすると、 将来的には旅行会社にもここ 旅行会社 トの改善もできる。さらに宿泊市投資もでき、需要に対応したソフ旅館の収益構造は改善する。設備 績にもプラスになる。そうすればを最大化できれば、旅行会社の業る事業が成功し、国内の宿泊市場佐藤 こうした客室流通に関す

旅館の収益構造は改善する。設備と考えたい。手数料率が下がれば、

手数料率が下がる余地も出てくる

が、そうではない。国観連の会員いうふうに感じる会員の方もいる行会社ににらまれるだとか、そうの存在を否定するようだとか、旅 の多くは相当の比率で旅行会社かが、そうではない。国観連の会員 、か、 そ う 旅 ても良い循環のはずだ。 旅館も、場は活性化する。 旅行会社にとっ

パンで国内旅行の振興を考える必ではあるが、もう少し長期的なスとらわれざるを得ない厳しい状況旅行会社も、目先の商売、業績に 7厳しい状況間売、業績に

成功しそうな複数の事例がある。

費やすより、

自分の経営に専念し

的な話はできないが、事業再生が 佐藤 守秘義務があるので具体

援会社スパークスの成果は。設立した会員旅館のための再生支 国観連の役員有志の出資で

めて日本に来るよう観光の質を高めて日本に来るよう観光の質を高いた。 当然、料理、温泉、そして旅館の はて、魅力の向上を怠るようなこ けて、魅力の向上を怠るようなこ けて、魅力の向上を怠るようなこ とがあってはいけない。旅館は、 外国人客に自信を持って日本文化 の魅力を紹介できるように受け入 れ環境の整備を進めなくてはなら ない。

も 重 い。 ている。 の減収分を国で補てんする制度を の地方税の不均一課税が認められ館・ホテルに対し固定資産税など 年を迎えた。 創設し、完全実施してもらいたい 理由に実施していないが、 際観光ホテル整備法には、登録旅 けるし、事業再生も進む。また、国 も半分になれば、 にとって固定資産税の負担はとて -国観連は8年度に創立68周 多くの市町村が財政難を 景気対策として3年間で 装置産業である宿泊産業 今後のあるべき姿を 経営はひと息つ

いるが。

どう考えるか。 業界団体の活動に時間を

っていける。もっと話し合っていいう意思があれば、いっしょにや通の課題に対して事業をやろうと 望を捨てたわけではない。日観連旅館連盟)との合併についても希の願いだ。日観連さん (日本観光業界団体を持つことは、旅館業界 動を知ってもらい、新国にはまだまだある。 し、いっしょに事業をやりたいと成功している旅館はたくさんある を持って問題に対処できる強力な自ら事業を手がけ、スピード感 国にはまだまだある。 国観連の活思わせるような魅力的な旅館が全 さんもそう考えていると思う。 進していきたい いっしょに事業をやりたいと 新規入会を促

会促進、 基準緩和

ら直販する実証実験を実施した。アムアウトレット『宿あそび』か

総合情報サイトの運営会社などと

G

D

S

に接続

外客誘致拡大

タラス)と契約した。 会員旅館は、

海外の旅行会社が宿泊

人ソリューションズ (本社・米国

証テー マの再検討を進める。

ンや予約の受付期間を見直し、 く方針。結果を分析し、宿泊プラ

ルの宿泊予約サイト「旅館プレミ会員旅館の宿泊プランをオリジナ

日間と短かく、予約件数は伸びな末年始を除くため、対象日数が40だった。 宿泊プランは休前日と年で、予約件数12件、予約人数29人

国観連は、8年12月~

,09年2月、

客室流通事業

継続的に展開

件だった総客室数を「5室以上」 った旅館に新規入会をはたらきかの基準では入会対象に含まれなか を上げてい 備の条件の緩和 詳細な条件の削除③館内施設・設 主な内容は、① 小規模旅館、外客受け入れに成果 要件を定めた「正会員の具備すべ 改正案を提案する。正会員の入会 へと改正②基準客室が備えるべき な内容は、①「10室以上」が要入会に要する施設基準の緩和の 国観連は、今総会に入会基準の 会員数の増加を目指す。 にある施設基準を緩和。 いる旅館など、これまで など。

の伝統と文化を守り、おもてなし 国観連では、「『日本旅館として ャンセル手続きなしの不泊の際に 宿泊料金を請求できるギャランテ 5%)の提供、外国人旅行者のキ 三井住友VISA、 レジットカード手数料率(JCB、か、会員に限定して適用されるク DCなど2・

の時間を遅らせたり、朝食のみで直販に取り組んだ。チェックイントから、会員旅館の宿泊プランの 施した客室流通の実証事業の手ご 観光庁から支援を受けて実 オリジナル宿泊予約サイ る。少量多品種の宿泊プランは、ティに富んだ宿泊プランがつくれ軒十色」の魅力を発揮したバラエはそれぞれの特色があるから、十 は売りにくい、

ればいい。 あるので直販できる仕組みをつく 旅行会社には取り扱いにくい面も にどうつながるのか。効率化・高度化、流涌 佐藤 旅館の商品企画力と営業 2・高度化、流通構造の改善-この実証事業は客室流通の

客室を管理・販売できるシステム構造にもっていきたい。国観連がをハンドリングできるような流通力の向上につながる。旅館が客室

を対率化し、旅行会社にもプルールできるはずがない。しかし、流通できる。国内を対応した宿泊プランを出せば、潜を対率化し、旅館が旅行ニーズにを対率化し、旅館が旅行ニーズにを対率化し、旅館がない。しかし、流通 った流通から脱皮すべきだと考え質を改善し、旅行会社に依存し切全盛だった時代に築かれた経営体ラスになる。旅館は、団体旅行が ている。

料率を改善したいと考えている旅は、それぞれの契約における手数―――旅館と旅行会社の関係で

_者2千万人という新たな目標をさらに、2020年の外国人旅

海外の富裕層が自ら求

に提供する事業をスター ところだが、 GDSへの接続環境を会員 外国人客の誘致につ

トさせた

を活用し、

経営のデュー

- デリジェ

と 違い、

加盟するメリットがない

という経営者もいる。 しかし旅館

スパークスの手法は、提携してい

るマネジメント会社や税理士法人

税制などの優遇措置があった時代と思う。国際観光ホテル整備法にた方がいいと考える経営者は多い

サービスなども活用できる。ぜひ・リザベーション(宿泊予約保証)連が提供しているギャランティー連が提供しているギャランティー商談会などに参加する意味も増し環境が整うことで、インバウンド 多くの会員に利用してほしい。サービスなども活用できる。ゼ 海外から宿泊予約が入る させるには、経営悪化の初期の段いいのかを提案する。再生を成功 階に相談してもらうことが重要 を実施し、どういう再生を探れば ンス(資産価値や経営内容の評価)

国観連の存在価値だ。

まず事業ありき。そして事業に

その解決のための事業を行うのが 業は多くの課題を抱えたままだ。

も、中小企業庁にある中小企業基身がファンド機能を持てなくて 必要になった場合、スパークスるのは、事業再生にスポンサー さらに一歩進めたいと考えてい 中小企業庁にある中

盤整備機構のファンド出資機能を 究している 資できるようにな 間のファンドやサー た機関が入ると、民 活用できないかを研 も安心して出 る。 そうし ハークス自 小企業基 新たな事業にVyl・と思う。例えば100軒が先行し、 流通事業でも、 功事例を全会員に普及する。 客室 新たな事業に取り組む。 員が一度にまとまらなくてもい 会員が協働で事業を起こす。 だと考えている。 会員同士でもっとアライアンス 取り組むのは会員1人ひとりだ。 (提携、連携)を組むことが重要

化が課題

している。 は違っても外国人客の受け入れにのではない。 施設やサービスの形 も一定のステータスが入合会基準の緩和を提案する。 09年度の通常総会には入 そうなることを期待 海外への客室流通 タスが入会条件な 必ず

音楽を楽しむことが 好きな」

課題を共有する

全 会

JASRACは音楽を創る人と楽しむ人のかけ橋です。 http://www.jasrac.or.jp

音楽を創るこ

日本音楽著作権協会 〒151-8540 東京都渋谷区上原3-6-12 TEL. 03-3481-2121 代表

連の新たな取り組みを紹介する。

けた実証事業を引き続き展開する考えだ。

する考えだ。総会に合わせ、国観トさせた客室流通の構造改善に向

業活動では、前年度にスター

スホテル赤坂で開催する。 今総会には入会基準の改正案を提案

施設基準を緩和し、新規会員の加入を促進する方針。

事

(社長=佐藤義正・国観連会長)

会員旅館の相談に応じて行う

2009年度 (第62回) 通常総会を東京・グランドプリン

国際観光旅館連盟 (佐藤義正会長、

1235会員) は6月4

が発足させた株式会社スパークスのほか、06年12月に役員有志保証)サービスの提供などだ。

る」とし、改正案が承認されれば、ける旅館経営者の入会を期待す る』という目的に賛同していただの心で内外の旅行者を受け入れ 人会を幅広く呼びかける考えだ。 国観連は、

> 取り組んだ。 共同で、

3だ。チェックインの時間観光庁の補助金を受けて

国観連は、旅館の客室を海外に

金の徴収を廃止している。 題の1つとして、88年度に とする各種事業に参加できるほく。客室流通の構造改善をはじめ 加盟のメリッ 新規会員の獲得を課 トもPRして 08年度には入会 を企画し、 起こしを狙った。 を遅くするなどの変則的なプラン

まり」など4種。旅行会社経由で高級旅館に泊まれる「おためし泊日に限り、夕食なしの特別料金で ナイト・チェックイン」、特定の日に朝・夕食を提供する「ミッド時間を午後9時以降と遅くし、翌 応した宿泊プランを提供した。 実証事業の結果は参加旅館38軒 宿泊プランは、チェックインの 多様なニーズに対

宿泊予約の経路

平日の宿泊需要の掘り るサービスを世界展開するペガサ流通させるため、宿泊予約に関す 海外旅行者 自社(国観連) 英語ホームページ 海外旅行会社 海外OTA GDS ユニレズ オンライン接続環境の提供を受 予約を行うGDS(グロー

が可能になる。旅館のGDョン・システム)との接続バル・ディストリビューシ が集まっている。 ニレズ」というサービス。 とから新市場の開拓に注目 S接続が初の試みであるこ 契約したのは、同社の

旅館は客室管理ソフトを通

の判断だ。 ことを説明できる。 離が条件ではない。 客室の増減、

2人1部屋3万円として表示し、 2人利用の部屋を販売するなら、 付帯情報の項目で2食付きである 当たり1泊2食付き1万5千円で 販売は必ず 例えば、 しも泊食分

ステム設定料と成約ごとの手数う。参加旅館の負担は、初期のシ とでは手数料率が異なる。 た旅行会社の流通、OT 派行会社の流通、OTAの流通 成約手数料はGDSを経由し 料金の設定は旅館 続きを行 芦谷治 西山勝 近藤清志 団博司 遠藤敦 佐藤世津子

大沢美代子 (中国支部事務局職員) (四国支部事務局長) (近畿支部事務局長) (九州支部事務局長)

用したい」などの反響があった。ので旅行できるミッドナイト・チ暇で旅行できるミッドナイト・チェックインに興味を持った」「高いで旅行できるミッドナイト・チェージを、「連休がないので、1日の休 ほか、海外のOTA (オンラインシステムはGDSと接続している売したい客室の情報を入力。予約 千サイトとも結ばれており、世界・トラベル・エージェント)約1 じてユニレズの予約システムに販 世界

た。「連休がないので、1日の休泊プランを評価する声が多かっかったが、サイト訪問者からは宿

る。 旅館が自社で英語ホーの手数料支払いも代行して の旅行者から宿泊予約を受けられ るようになる。 ユニレズでは、 旅行会社などへ してもらえ ムペー

したコー

を設けて記事を

掲載しています。

敬称略

通構造の改善事業に取り組んでい終わることなく、継続的に客室流

国観連では、今回の実証実験に

宿泊予約を旅行者から直接受

け付けることも可能だ。 てユニレズへの加盟手 ニレズの予約エンジンを使用. ジを持っている場合などでは、ユ 会員旅館は、 国観連本部を通じ

て

若林秀敏

(関東甲信越支部事務局長) (伊豆箱根支部事務局長) (中部支部事務局長)

有江峰利 (北海道支部事務局長) (東北支部事務局長)

と、国観連9支部の9氏の協な情報を迅速に提供しよう観光経済新聞社では、身近 力で「国観連支部から」と題

9氏が通信員

観光総合誌 季刊「観光」

購読料 年間4,800円 64ページ 年4回発行

| 役立つ情報をあなたに

季刊「観光」は、地域のオピニオン リーダーや、観光振興に向けて活動 される方々のための、日本で唯一の 観光総合誌です。季節ごとに興味 深い特集で、皆さまのお役に立つ 情報をお伝えしています。

あなたのPRのお手伝いをします

季刊「観光」は、観光関係国会議員に参考資料としてご活用 いただいているほか、観光のキーマン、全国の観光地の観光 担当者にご購読いただいています。また、マスコミの取材やロ ケ地の選定等にも活用されています。さらに、季刊「観光」を 活用して地域と旅行会社で旅行商品の造成を行ったり、携帯 電話を観光振興に活用するイベント等も開催しています

お問い合わせ 社団法人日本観光協会 企画・総括グループ広報チーム

TEL. 03-6222-2532 FAX. 03-6222-2539 http://www.nihon-kankou.or.jp/ home/index.html